

子ども育ちの家 「て・い・く」だよ!



新年 おめでとうございます。



QRコード



子ども育ちの家「て・い・く」も今年で2年目を迎えました。子どもたちも少しずつ増え、玄関を入ると活動の様子や笑顔の写真を飾ることができるようになりました。「て・い・く」は熊本市手をつなぐ育成会が運営しています。手をつなぐ育成会とは、障がいのある子どもさんたちの親の会です。「て・い・く」は最近開所したばかりですが、入所支援施設「しょうぶの里」は15年の歴史があります。他に就労継続支援B型事業所「第二ぎんなん作業所」や「グループホーム」3箇所、地域生活支援センター「ぎんなん」等の事業所もあります。「て・い・く」は、日頃からこれらの事業所と情報を交換し、福祉サービスについての情報を得るようにしています。今年から、学校等に出向いて障がい福祉制度のサービスに関する情報提供等を育成会で始めましたので、ぜひ、ご活用ください。

(ホームページをご覧ください。→熊本市手をつなぐ育成会で検索。)

第2回目のりょういく懇談会を開催します!

□期日：2月17日(土) 午前10時から正午まで(予定)
□場所：子ども育ちの家「て・い・く」

1回目を12月2日に開催しましたが、その際、都合で参加できなかった方やもっとお話が聞きたかった等のご意見をいただきました。そこで、第2回目も尾道幸子先生に講師をお願いしました。懇談会の内容につきましては、案内チラシを作成しましたのでご覧ください。なお、今回も尾道幸子先生の個別相談を希望される方はお気軽にご連絡ください。(12月は3件ありました。)



カームダウンエリア (ホットルーム)

「て・い・く」には、カームダウンエリア(ホットルーム)が設けてあります。これは子どもたちが、感情やストレスが高まった時にもとの状態に戻ることができるよう落ち着く部屋です。今のところかくれんぼの場所にはなっていますが、本来の目的で利用した子どもさんはいないようです。

さくら草をいただきました。

白や赤、ピンク色の咲くサクラソウには多くの花言葉があります。先日、「て・い・く」の子どもさんたちにぜひ育ててくださいと、プランター10鉢をいただきました。春先は、庭一杯に咲きほこり、子どもたちの目を楽しませてくれることでしょう。



(春野)



裏の敷地でバドミントン!

次のステップへ



プレイルームで勉強!



“発達に障がいがある”と言われる子どもさんたちは、他の子どもさんとどんなところが違うのでしょうか。保育(幼稚)園や学校で、先生や友だちの話が理解できない、そのためトラブルが絶えない。特定の物にこだわりがあり、一人で過ごすことが多い。落ち着きがない、忘れ物が多い。とかくマイナスの行動面が強調されがちです。しかし、診断名がある子どもさんでも、それぞれに状況は異なりますので画一的な捉え方はできません。一般的に、椅子に座っていることが難しい、国語・算数等の得手不得手、興味のあるものに対する執着心などは、子どもならずとも誰にでもあるものです。「て・い・く」では、まずは子どもさんにじっくり寄り添い、個別相談での話をベースにしながら、再三再四、どんな手立てが必要か、異年齢や学校の異なる他の子どもたちとの関係性はどうか、等々を考えながら子どもたちに日々向き合っています。